

⇒前ページから続く

5区予定の中村君の発熱が無ければ彼は10区を走る予定であったと聞く。我々が考えている以上に区間の変更は選手にプレッシャーを与えるものだという。コースを頭に入れ、攻める地点を頭に叩き込みレースに入ると思う。

それを急遽の変更は、それらのイメージをゼロに戻し、まかされたコースのインプットをし直す行為は走る人しか判らない事だと思ふ。

今回の走りは彼にとって屈辱の日であったと思ふし、思い出したく無い事だと思ふ。

然し、長い人生では、人は多かれ少なかれ思い出したくない場面、屈辱の日々を数多く経験すると思う。彼はまだ2年、来年も再来年もまだチャンスは有る。自分に負けることなく頑張ってもらいたいと思う。

『失敗は成功より美しく、又更に成功よりも教訓と力に富めり』

「古酒新酒」より

## 来年こそ！箱根デビュー戦の高橋選手

### 箱根駅伝に魅せられて

小野寺 俊雄

東京駅7時40分、大急ぎで大手町へ向かう。大手町に近づくにつれて、太鼓の音が勢いよく聞こえてくる。皇居前の通りに出ると歩道は黒山の人がかりで。

各大学の応援団の周りに応援者が一体となって応援している。中央大学もスタート地点の向かい側で応援している。

『力、力、中央、中央』の元気な声がこだましている。私も、応援しながらスタートを見守ることにした。

8時ちょっと前、報道車が道路の前に割って入りスタート地点は残念ながら一部分しか見えなかった。8時スタート、全員元気良く読売新聞社の前を飛び出して行った。

私は再度応援の為、JRに飛び乗り箱根の『大平台』に向かった。皆より遅れること1時間、大平台に到着。駅よりヘアピンカーブへの道も人、人、人。丁度カーブの所に、我々を含めた3グループの中大白門会が横断幕を誇らしげに掲げて2時間前よりスタンバイ。前日急遽区間変更となった高橋選手の姿を待つことになった。

今シーズン中大で一番伸びた選手と言われていた高橋君ですが、残念ながら厳しい箱根デビューとなってしまいました。

今回は結果を残せませんでした。敗因をきちんと受け止め、精神的に一日も早く立ち直って、又来年元気な姿を見せて頂きたい。

..... ガンバレ、頑張れ 高橋



小田原駅前に集合した応援メンバー



大平台で選手を待つ